

1 テーマ名

美術館を核とした文化振興について

2 施策の背景

平成21年度に島根県立美術館が開館10周年を、また、今年度には島根県立石見美術館(グラントワ)が開館5周年を迎える。

両美術館とも企画展の開催や関連イベントの開催、また、教育普及事業など様々な活動を展開し、多くの県民に多様な芸術鑑賞の機会を提供する島根県の芸術文化の拠点である。

加えて、その優れた景観、例えば、県立美術館では、宍道湖畔に立地する特性から、湖に沈む夕日の鑑賞スポットとして人気を博し、また、湖畔に設置された彫刻「宍道湖うさぎ」が、縁結びの一大人気スポットとなるなど、新たな魅力も定着してきている。

このように、県立美術館や石見美術館は、単に芸術文化の鑑賞施設としてだけでなく、多様な楽しみ方のできる施設として利用され、親しまれる施設となってきている。

また、島根県には二つの県立の美術館以外にも公設・私設の多くの美術館があり、これらがそれぞれの個性を發揮し、機能を活かしながら有機的な連携、交流を進めることで、文化振興だけではなく地域づくりや観光振興へとつなげていくよう、取り組みを進めていきたい。

県では、平成24年の「古事記編纂千三百年」を機に、島根の魅力を全国にアピールするため、「神々の国しまね」の歴史・文化を活用した多彩なイベントを計画しており、二つの県立美術館でも他館との有機的な連携による企画等を検討しているところである。

3 今後の検討課題

美術館を核とした地域連携による文化振興のためにはどんな取組をしていく必要があるのか、ご意見を伺いたい。

①地域における美術館について

…… 資料①

○多くの方に来館いただくよう、多彩で質の高い展示会の開催や、様々な関連イベントの取組、また、積極的な広報活動につとめてきたが、今後、新たな顧客獲得や、地域振興・観光振興にもつなげる取組について、ご意見を伺いたい。

②美術館を拠点とした文化交流について

…… 資料②

○平成22年度及び平成23年度において、「地域活性化のための芸術文化連携事業」として、東西の県立美術館交流連携事業や県内文化施設相互連携事業などを実施するが、今後の連携のあり方について、ご意見を伺いたい。

4 本県の県立美術館

《島根県立美術館》



- 県民に開かれた美術館
- 芸術活動を育成する美術館
- 水と調和する美術館

《島根県立石見美術館》



- いわみ芸術劇場と一体となった複合文化施設(グラントワ)
- 石見地域の芸術文化の拠点

名称	上段:所在地/下段:開館年月日	展示室	開館時間
島根県立美術館	松江市袖師町 平成11年3月6日	企画展示室1、展示室5、ギャラリー1	10:00～日没後30分 ※10月～2月は18:30
島根県立石見美術館	益田市有明町 平成17年10月8日	展示室4	10:00～18:30

地域における美術館について

—観光から見た美術館のポジションについて—



【島根県立美術館】

<開館時の基本的な考え方>

- 県民に開かれた美術館
- 芸術活動を育成する美術館
- 水と調和する美術館

○ロケーションを生かした観光スポット

”湖畔にたたずむ夕日の見える美術館”
”縁結びで人気の「宍道湖うさぎ」”



【島根県立石見美術館】(グラントワ)

<開館時の基本的な考え方>

- いわみ芸術劇場と一体となった複合文化施設(グラントワ)
- 石見地域の芸術文化の拠点

○地域住民の活動と交流の場

(資料) 平成21年観光地点別観光入込客延べ数

(出典:平成21年島根県観光動態調査(県観光振興課)より)

(単位:人地点)

市町村名	観光地・観光施設名 (観光地内の内訳)	H21入込客延べ数			備考
		H20入込客延べ数	対前年比		
松江市	1 玉造温泉	600,971	681,701	88.16%	
	2 カラコロ工房	404,859	406,112	99.69%	
	3 美保関	379,554	385,753	98.39%	
	4 島根県立美術館	351,736	285,344	123.27%	(うち観覧者数: 189,494人)
	5 ぐるっと松江堀川めぐり	327,306	349,097	93.76%	
	6 松江城山公園	316,612	308,697	102.56%	
	7 熊野大社	294,500	289,000	101.90%	
	8 松江城	280,768	273,751	102.56%	
	9 大根島	236,297	249,089	94.86%	
	10 八重垣神社	231,395	238,519	97.01%	
益田市 津和野 吉賀	1 太鼓谷稻成神社	699,772	669,503	104.52%	津和野
	2 道の駅シルクウェイにちはら	325,159	334,773	97.13%	津和野
	3 島根県芸術文化センター グラントワ	308,906	299,012	103.31%	益田
	a (石見美術館)	82,943	71,598	115.85%	益田
	b (いわみ芸術劇場)	142,227	149,264	95.29%	益田
	c (その他)	83,736	78,150	107.15%	益田
	4 道の駅なごみの里	260,308	80,699	322.57%	津和野
	5 万葉公園	228,334	210,862	108.29%	益田
	6 美都温泉	120,593	124,273	97.04%	益田
	7 むいかいち温泉ゆ・ら・ら	112,716	116,825	96.48%	吉賀
8 やすらぎの湯	65,250	68,810	94.83%	益田	
9 ひだまりパークみと	62,009	65,219	95.08%	益田	
10 道の駅かきのきむら	48,889	48,868	100.04%	吉賀	

(調査期間:平成21年1月～12月)

地域における県立美術館について

<地域と美術館との関係>

- ・本物の芸術に触れる
- ・文化活動の発表の場

〇文化振興の拠点

- ・ロケーションを生かした観光スポット
- ・地域活動の拠点として

〇地域のランドマーク



県立美術館

調査・研究・調整(他館との借用交渉等)

- ・学芸員の専門分野を生かした展覧会を企画。
- ・巡回展の招致による展覧会の開催。



教育普及活動

- ・展覧会開催によるギャラリートークの開催。
- ・県民参加型のワークショップの開催。
- ・工夫を凝らした鑑賞ガイドの作成・配布。
- ・県民の作品発表の場の提供(ギャラリー等)



展覧会

(企画展・常設展)

各美術館毎の事例
[1] [2]

イベントの開催(展覧会関連)

- ・作品に関するイベントの開催
(実績例)・ロビーコンサート・映画上映会
・ナイトミュージアムThe怪談 など



イベントの開催(来館者向け)

- ・様々なイベント・デーの開催
(実績例)・「ゆるキャラ大集合」デー ・ファミリー感謝デー ・夏休みファミリーデーなど
- ・様々な季節イベントの開催
(実績例)・ロビー・ライトダウン ・アート・Xmas2009など
- ・その他
(実績例)・託児サービス ・キッズルーム



[1]

島根県立美術館（松江） [一例]

企画展名称: 中右コレクション 四大浮世絵師展
 開催期間: 2010. 4. 21-5. 26
 観覧者数: 19,897人



図録



教育普及

鑑賞ガイド



会場内配布

教育普及



教育普及

教育普及

5種類のスタンプを使って
 巨匠の作品を"再現"するイベント



講演会等

- オープニング・ギャラリートーク (中右 瑛 氏)
- 記念講演会「写楽研究の最前線」 (浅野 秀剛 氏 (大和文華館館長))
- 担当学芸員によるギャラリートーク (数回)

関連イベント

映画上映会「写楽」



当日先着順

「ナイトミュージアム The 怪談」



19:45 ~ 20:30 事前申込(抽選)

しんじこうさぎ
《宍道湖うさぎ》
1999年 ブロンズ

やぶうち さとし
藪内佐斗司



12羽のうさぎがぴよんぴよん跳びはね、最後に宍道湖を眺めています。よく見るとこのうさぎは三種類の形しかありません。後ろ足で蹴っているポーズと、前足で着地しているだけの二種類の形を交互に配置させて動きをだしています。

最近では前から2番目のうさぎを触ると幸せが訪れるといううわさで大人気！さらに宍道湖名物“しじみ”を供えと効果がアップすると言われています。

[2]

島根県立石見美術館（益田） [一例]

企画展名称:花とともに—日本美術の500年 室町時代から現代まで—
 開催期間:2010. 4. 23—5. 31
 観覧者数:7,308人



図録



教育普及



教育普及

地域連携



- オープニングセレモニー
仕舞(喜多流「八島」河田周、観世流「梅」柿内春美)
- 活け花の供宴
池坊・末生・小原・草月の4流派
- ワークショップ「花を活けよう 楽しもう」指導:杉内藤江(MOA美術・文化インストラクター)

講演会等

- 記念講演会「室町文化と花のころ」
(村井康彦(京都市美術館館長 国際日本文化研究センター名誉教授))
- 美術講座「花とともに—日本美術と花のころ—」(当館主任学芸員)
- 担当学芸員によるギャラリー・トーク(数回)
- オープンスタジオ「かんたん! かわいい! パラのブローチをつくろう」(ワークショップ)

関連イベント

- 関連企画「花いっぱいプロジェクト」
～益田駅前からグラントワ前までの沿道を中心に花苗プランターを設置
・設置するプランター数/500個
(マリーゴールド・サルビア・金魚草)
・協力/島根県立益田翔陽高等学校、近隣の自治会・商店会など

- グラントワteaガーデン
「和花茶(わかちゃ)」先着
- いつでもどこでも音楽祭
アンサンブルFlauce ～フルートとチェロの演奏～

美術館を拠点とした文化交流について

内容

『地域活性化のための芸術文化連携事業』（経済対策－基金事業(H22,H23)）

文化交流を促進し地域活性化を図るため、美術館（県立美術館、石見美術館）の相互連携による展覧会及びそれに関連する文化イベント等による芸術文化連携事業を実施する。

（以下は構成する3部門）

①東西美術館交流連携部門	②県内文化施設相互連携部門	③近県・隣県・全国連携部門
○島根県収蔵品展(両県立美術館) ○文化交流事業 ・県立美術館 ……石見神楽の上演 など ・石見美術館 ……松平不昧公の紹介など	○安野光雅の世界展 (県立美術館・安野光雅美術館) ○文化交流事業 ・鷺舞公演 ・津和野町観光紹介 など	○雪舟と日本美術展(石見美術館) ……山口県立美術館との共同研究 ○松岡映丘展(県立美術館) ……姫路市立美術館との共同企画

(単位:千円)

【県立美術館】

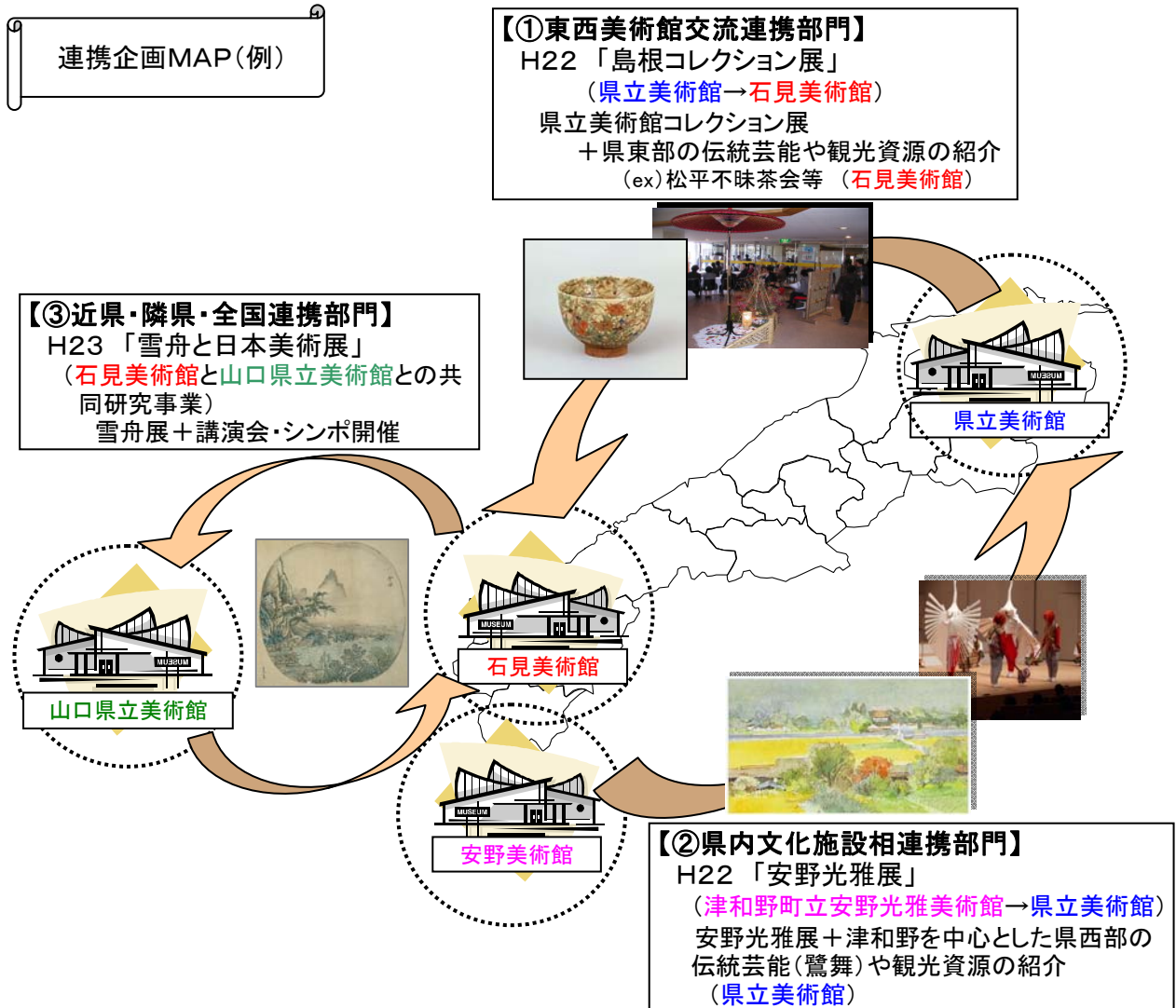
内	H22	20,700
訳	H23	12,500

【石見美術館】

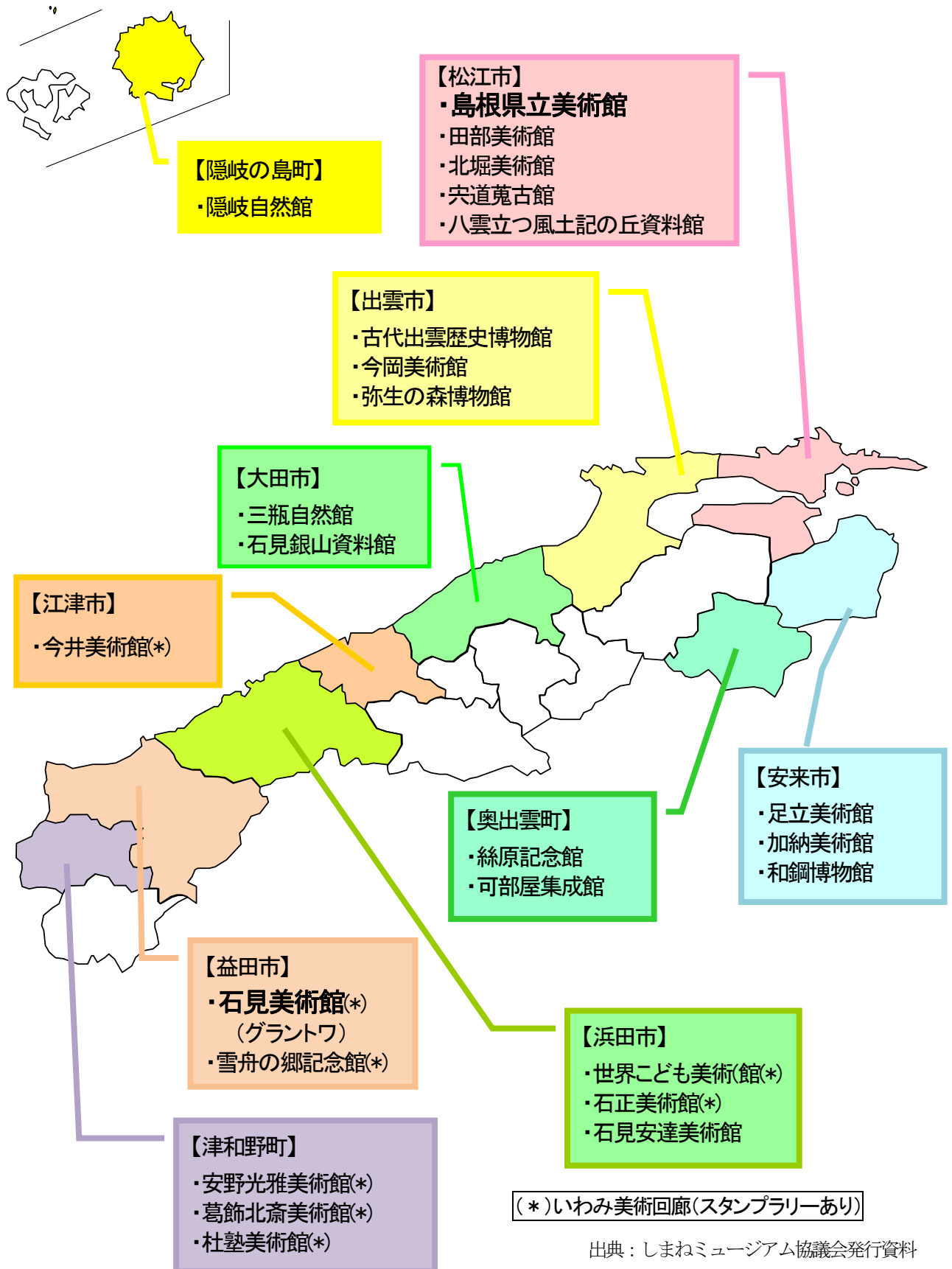
内	H22	22,345
訳	H23	21,205

(単位:千円)

連携企画MAP(例)



(参考資料) 島根県内の美術館・博物館



県立美術館・石見美術館の基本概要について

1. 基本事項

(1) 指定管理者制度の導入について

多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、展覧会の企画や教育普及など長期的な視野が必要な学芸部門は県直営のまま残し、施設の維持管理や広報・利用促進等に係る部門について、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上、経費の節減等を図ることを目的として「指定管理者制度」を両美術館に導入している。

項目	島根県立美術館	島根県立石見美術館
指定管理者	(株)SPSしまね	(財)島根県文化振興財団
導入形態	展覧会の企画(学芸部門)は県直営	展覧会の企画(学芸部門)は県直営
指定期間	5年(H22~H26)	5年(H22~H26)
指定管理業務	・施設の維持管理 ・広報・利用促進業務 等	・施設の維持管理 ・広報・利用促進業務 等

(2) 館藏品・展覧会について

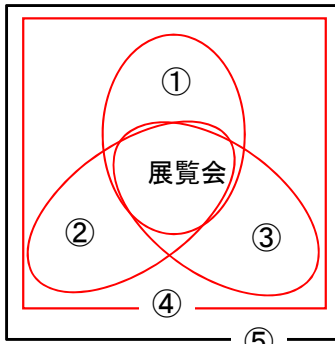
【館藏品の収集について(下記領域を重点的に収集)】

施設名称	収集領域
島根県立美術館	<ul style="list-style-type: none"> ○水を主題とする絵画 ○日本の版画(葛飾北斎、歌川広重 等) ○国内外の写真(植田正治 等) ○木を素材とした彫刻(米原雲海 等) ○島根の美術(橋本明治、石橋和訓 等)
島根県立石見美術館	<ul style="list-style-type: none"> ○森鷗外ゆかりの美術家の作品(黒田清輝、大下藤次郎 等) ○石見の美術(橋本明治、「益田元祥像(狩野松栄筆)」等) ○ファッション(森英恵、ガブリエル・シャネル、草間彌生 等)

【展覧会について】

基本コンセプト: 幅広い視野で多彩な企画展の開催/テーマ性をもった質の高い常設展示

島根県立美術館	企画展(自主企画展・巡回展):【基本】年度 6本(うち西洋絵画1本) 常設展(館藏品):【基本】年間最大8回程度入れ替え(5室それぞれで異なる)
島根県立石見美術館	企画展(自主企画展):【基本】年度 4本 常設展(館藏品):【基本】年間最大6回程度入れ替え(3室それぞれで異なる)



展覧会の開催は、上図のとおり、様々な要素の上で成り立つものである



県と指定管理者と

項目	内容
① 調査・研究・調整(他館との借用交渉等)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展覧会(企画展・常設展)は、県直営で学芸部門が担当している。 ・学芸員の専門分野の調査・研究等により、展覧会を企画。 ・巡回展による展覧会の開催
② 教育普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に関する講演会の開催、担当学芸員によるギャラリートークの開催 ・缶バッジ作り、絵描きなど県民参加型のワークショップの開催 ・担当学芸員による工夫を凝らした鑑賞ガイドの作成・配布 ・作品発表の場の提供(県展等)
③ イベントの開催(展覧会関連)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に関するイベントの開催(実績例) ・ロビーコンサート ・映画上映会 ・ナイトミュージアムThe怪談 など
④ イベントの開催(来館者向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベント・デーの開催(実績例) ・「ゆるキャラ大集合」デー ・ファミリー感謝デー ・夏休みファミリーデー ・パスポート会員感謝デー ・無料開放デー ・様々な季節イベントの開催(実績例) ・七夕インスタレーション2009 ・ロビー・ライトダウン ・アート・Xmas2009 ・アート・年賀状 ・お子様企画の開催(実績例) ・託児サービス ・キッズルーム
⑤ 温かみのあるサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に満足いただける接遇に向け、スキルアップ研修等を企画し人材を育成 (実績例) ・ヒューマンスキルアップ研修 ・チーム力アップ研修 ・展覧会期間中の照会対応のために、スタッフ全員で展覧会の内容に関する勉強会を実施

(4) 宣伝・広報活動について

施設名称	活動内容
島根県立美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等 ・ホームページの強化 (H21 年間アクセス数 対前年比約140%) ・チラシ・ポスターの置きまわり (H21 約200店舗) ・「ロコミPR隊」の結成(パスポート会員から抽選) ・観覧者向け「クイズ」の実施(展覧会作品からの問題)
島根県立石見美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等 ・ホームページの強化 ・PRグッズ(例:「企画展花とともに」→”花の種”)作成

(5) 入館者の動向分析(美術館の利用実態、価値観の把握等)について

施設名称	活動内容
島根県立美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・定量調査(来館者アンケートをもとに)の実施・分析 ・定性調査(グループインタビュー)の実施・分析
島根県立石見美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・定量調査(来館者アンケートをもとに)の実施・分析

2. 事業概要(予算、基金)

※以下は主なもの (各年度当初予算ベース)

【県立美術館】

(単位:千円 ()は一般財源)

	H19	H20	H21(※1)	H22	
企画展展示事業	98,300	98,750	100,330	79,600	(※1) H21年度は10周年記念展開催
	(40,000)	(39,000)	(40,000)	(33,750)	
	[事業費]	[対H19比:100.5%]	[対H19比:102.1%]	[対H19比:81.0%]	
指定管理委託料 〔施設維持管理費、広報事業〕	256,000	259,000	259,000	264,000	(※2) 第3期(5年) H23:261,000 H24:262,000 H25:261,000 H26:263,000
	(246,796)	(249,951)	(249,511)	(253,355)	
	[委託料]	[対H19比:101.2%]	[対H19比:101.2%]	[対H19比:103.1%]	

【石見美術館】

(単位:千円 ()は一般財源)

	H19	H20	H21	H22(※3)	
企画展展示事業	62,822	60,192	49,604	52,005	(※3) 他財源を確保したことによる増
	(28,467)	(28,062)	(22,309)	(15,837)	
	[事業費]	[対H19比:95.8%]	[対H19比:79.0%]	[対H19比:82.8%]	
指定管理委託料 〔施設維持管理費、広報事業〕	339,519	339,613	339,457	312,260	(※4) 第2期(5年) H23:315,435 H24:309,487 H25:312,541 H26:313,812
	(156,323)	(166,581)	(166,483)	(139,241)	
	[委託料]	[対H19比:100.0%]	[対H19比:99.9%]	[対H19比:92.0%]	

※石見美術館の指定管理委託料は、「いわみ芸術劇場」分を含む

【2館共通】

○島根県美術品等取得基金(基金事業)

積立金 1,000,000千円

基金残高(H22.3月末時点) 約25,000千円

内 現金	25,103	(単位:千円)
訳 館蔵品	974,897	

※この他、寄贈、寄託による収集も行っている。

3. 島根県の美術館観覧者の状況

【島根県立美術館 企画展（開館～H22年度）】

平成11年度	水の物語
	日展
	乾山と京のやきもの展
	ロダン展
	島根の美術
	ラファエル・コラン展
	ロー・コレクション展
平成12年度	河井寛次郎と棟方志功展
	日本の美-笑い-展
	ボルドー美術館展
	東京芸大美術館名品展
	梅原龍三郎展
平成13年度	イギリス・フランス近代名画展
	松平不昧展
	いわさきちひろ展
	写真の歴史160年展
	黄金の至宝展
	佐藤忠良・舟越保武二人展
	日本のわざと美展
イタリア彫刻の20世紀展	
平成14年度	ウィーンの春
	日展
	世界遺産 ポンペイ展
	ルドン展
	西洋の美・日本の美 大倉集古館の名品展
平成15年度	森山大道展
	上海博物館展
	斎藤義重展
	モネと印象派の画家たち 橋本明治展
平成16年度	THEドラえもん展
	昭和前期の洋画1923-1945
	ジョルジュ・ルオー展
	京都国立近代美術館所蔵日本画名品展
	徳川美術館展 唐三彩の世界展

平成17年度	ギュスターヴ・モロー展
	若沖と琳派展
	サントリー美術館名品展
	ミュシャ展 スイス・スピリッツ展
平成18年度	岡本太郎展
	日展
	ミッフィー展
	前田青邨展
	田園への誘い展 平塚運一展
平成19年度	ルソーの見た夢、ルソーに見る夢
	有元利夫展
	高総文祭
	竹久夢二展
	モディリアーニ展
	島根の近代日本画家5人展
平成20年度	パリ - ニューヨーク展
	江戸と明治の華展
	ジョットとその遺産展
	エリック・カール展 魅惑の近現代版画展
平成21年度	開館10周年記念展(フランス絵画の19世紀展)
	新発見！エジプト展
	橋本関雪展
	桃山・江戸の美
	浮世絵遊覧
平成22年度	ピアトリクス・ポター展
	四大浮世絵師展
	アントワープ王立美術館コレクション展
	奈良原一高展
	河井寛次郎展 コレクション企画展八雲立つ

青文字・・・西洋絵画 赤文字・・・島根にちなんだ企画

〔上表から省略したもので、企画展示室で開催しているもの〕

県立美術館・・・県展（開館～）、日本伝統工芸展（H14年度～）

【島根県立石見美術館 企画展（開館～H22年度）】

平成17年度	華やぐ女たち エルミターージュ美術館展
	江戸の奇才 北斎
	ウィーン展
平成18年度	森鷗外と美術
	スポーツウェアの革命
	高円宮家秘蔵 雅・みやび-宮中装束と根付展
	美しさへの挑戦 -ヘアモード・メイクアップの300年
平成19年度	森英恵 手で創る
	BOX ART
	巨匠と出会う名画展
	昭和初期の美人画展

青文字・・・西洋絵画 赤文字・・・島根にちなんだ企画

平成20年度	国立能楽堂コレクション展
	ハローキティとアート展
	大下藤次郎の水彩画 アメリカの見た夢
平成21年度	中尾彰展
	黒田清輝展
	千年の祈り 石見の仏像
	疾走する日本車
平成22年度	花とともに
	革の世界
	開館5周年記念展(神々のすがた)
	開館5周年記念展(ロボットと美術)

企画展観覧者数

県立美術館

①	水の物語	H11	109,906
②	10周年記念 「フランス絵画の19世紀」	H21	80,944
③	松平不昧展	H13	64,913
④	モネと印象派の画家たち	H15	57,512
⑤	新発見！エジプト展	H21	51,814
⑥	エリック・カール展	H20	48,977
⑦	東京芸大美術館名品展	H12	48,123
⑧	いわさきちひろ展	H13	45,777
⑨	ミッフィー展	H18	45,311
⑩	河井寛次郎と棟方志功展	H12	38,986

石見美術館

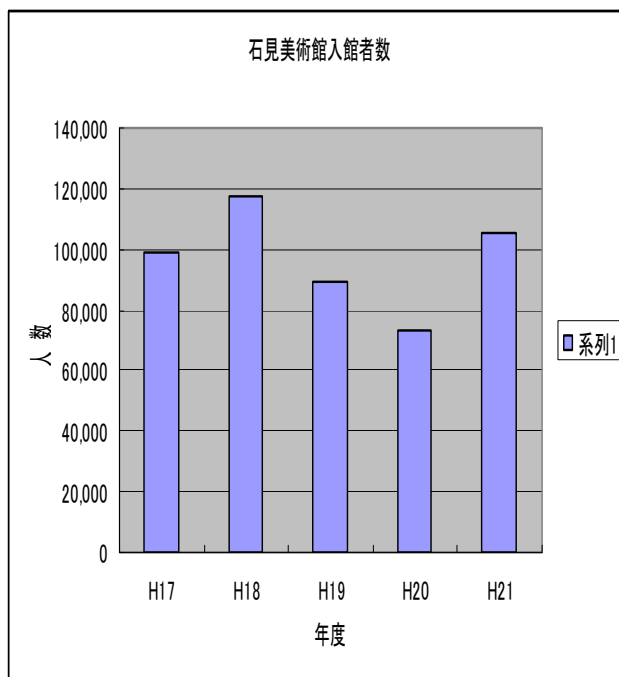
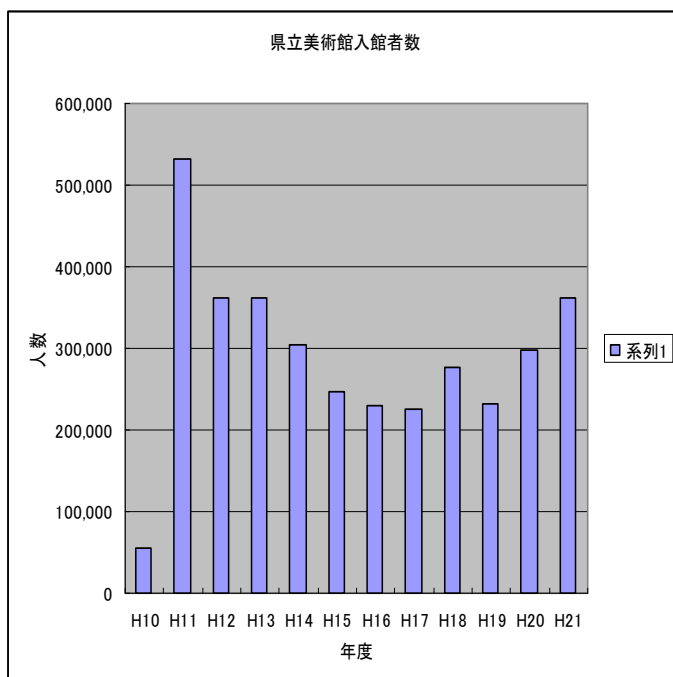
①	ウィーン展	H18	28,421
②	エルミタージュ展	H17	27,229
③	疾走する日本車	H21	19,488
④	巨匠と出会う名画展	H19	17,835
⑤	黒田清輝展	H21	15,180
⑥	石見の仏像展	H21	14,435
⑦	江戸の奇才 北斎	H17	11,748
⑧	スポーツウェアの革命	H18	11,394
⑨	ハローキティとアート展	H20	11,229
⑩	森英恵 手で創る	H19	10,530

4. 平成21年度の入館者(H21年4月～H22年3月)

【島根県立美術館】 362,085人（累計 3,486,639人:H10.3～）

【石見美術館】 105,113人（累計 484,845人:H17.10～）

<参考：県立美術館、石見美術館 開館以降の入館者（推移）>



5. 美術館観覧者の状況(その他)

①全国から見た美術館観覧者の状況 ※平成19年度データ ※都道府県立美術館数:61館

〔都道府県人口比率〕

【島根県立美術館】	人口1万人当たり	2,087人(全国第2位)
【石見美術館】	〃	1,230人(全国第8位)

〔市町村人口比率〕

【島根県立美術館】	人口1万人当たり	8,011人(全国第6位)
【石見美術館】	〃	17,671人(全国第2位)

②企画展における地域別観覧者の状況

【県立美術館】

「フランス絵画の19世紀」(観覧者数:80,944人)でのアンケート結果

松江市内	(27%)
松江市以外の県内市町村	(22%)
鳥取県	(24%)
広島県	(6%)など

【石見美術館】

「黒田清輝展」(観覧者数:15,180人)でのアンケート結果

益田市内	(19%)
益田市以外の県内市町村	(25%)
広島県	(25%)
山口県	(20%)など

